

# 経営学部 リフレクションペーパー

2014年度 <前期>

教員氏名  大内 秀二郎
担当授業科目名 (曜日・時限) 商学A (火曜5限) 流通システム論 I (水曜6限・金曜3限 [2クラス開講])
1. アンケート結果に対する総評 流通システム論 I (水曜6限クラス 8.8, 金曜3限クラス 8.1) については、概ね好評であったと理解している。自由記述欄においても「分かりやすい」という好意的なコメントが多く見られた。その一方で、金曜クラスについては、教室の狭さ、教室内の温度調整の不十分さ、一部受講者（特に教室の後方に着席している者）の私語などに対する苦情が散見された。 商学Aは7.9と昨年度(7.7)よりわずかながら改善された。今年度は、昨年度の反省を踏まえて講義内容を一部改訂し、一つのシンプルな原理によって商業の様々な現象が説明できることを理解させることに注力した。しかしながら、受講者からは昨年度と同様に「似たような話ばかり」、「同じ内容を繰り返し説明しているだけ」、「内容が初歩的過ぎる」などの意見が多く見られた。講義内容のより抜本的な変更が求められていると言えよう。
2. 授業を行う上で工夫した点, 良かった点 流通システム論 I については、例年通り、新聞記事や映像などの資料も交えながら、理論と実践の両面から流通の全体像を理解できるように心がけた。商学Aについては、これまでと同様「学生に質問を投げかける→学生に考えさせる→学生からの解答例をいくつか提示する→理論的な説明を展開する」というサイクルを授業の中にできるだけ採り入れる一方で、これまで説明していた事項を一部省略し、内容を絞り込んで講義を実施した。流通システム論 I については狙い通り高い評価を得ることができたが、商学Aについては、授業評価の結果から判断する限り、当初意図していた通りの教育効果を上げることはできなかったと思われる。
3. 今後の改善点 商学Aの授業内容に関しては、次年度は講義内容の抜本的な変更を実施したい。一年生のクラスであるので、商業理論に関する厳密な説明には必ずしもこだわらず、実社会における商業現象に対する関心を喚起することを主要な目的に設定したい。また、引き続き、私語をする学生に対しては、講義を遮ってでも注意を促し、それでも私語を止めない学生には退室を求める、などの厳正な態度で臨みたい。流通システム論 I については、水曜クラスと金曜クラスでクラス規模にばらつきがみられるので、適正化のため時間割編成上の工夫を求めたい。